

第2号様式の5の3（第11条の4の9関係）

火災予防上必要な業務に関する計画提出書

(1)年 月 日

東京消防庁

(2) 殿

届出者 (3)

住所

電話 ( )

氏名

(4)

火災予防条例第55条の3の9第2項  
第55条の3の10第1項の規定に基づき別添のとおり火災予防上必要な業務に  
関する計画を提出します。

催 し	名称	(5)			
	開催場所	(6)			
	開催期間	自 (7) 年 月 日 至 年 月 日	開催時間	開始 (8) 時 分 終了 時 分	
一日当たりの 人出予想人員	(9)	露店等の数	(10)		
使用火気等	<input type="checkbox"/> こんろ等の火を使用する器具 <input type="checkbox"/> ガソリン等の危険物 (11) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
防火担当者	(12) 氏名				
その他必要事項	(13)				
※ 受付欄		※ 経過欄			

備考 1 届出者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。  
2 ※欄には、記入しないこと。

(日本産業規格A列4番)

【火災予防上必要な業務に関する計画提出書の記入要領】

項目	記入要領
(1) 年 月 日	提出書の消防署への提出年月日を記入します。
(2) 宛 先	1 1の消防署の管轄区域で開催される催しの場合 開催場所を管轄する消防署長宛とします。 2 2以上の消防署の管轄区域にわたる催しの場合 消防総監とします。ただし、提出書は、代表する消防署に提出してください。
(3) 届 出 者	1 催しを主催する者の住所、電話番号及び氏名を記入します。 2 法人（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのある者を含む。以下同じ。）の場合は、法人の住所・電話番号・名称及び代表者等の職・氏名を記入します。 (例) ○○区○○町一丁目1番1号 ○○花火大会実行委員会 会長 ○○ ○○ 3 個人の場合は、住民登録してある住所とします。 4 複数の団体等が共同して主催する催しについて、火災予防上必要な業務に関する計画を共同して1の計画として作成した場合、届出者は連名とします。
(4) 根拠条文	該当しない根拠条文を二重線で削除します。 ・第55条の3の9第2項：指定催しにおける計画提出根拠 ・第55条の3の10第1項：特定大規模催し（指定催し以外）における計画提出根拠
(5) 催しの名称	当該催しの名称を記入します。 (例1) 第○回○○花火大会 (例2) ○年○○区民際
(6) 催しの開催場所	1 当該催しの開催場所を記入します。 2 住所等で示すことが困難な場合等は、別紙として地図等で明示します。
(7) 開催期間	当該催しの開催期間を記入します。ただし、予備日は、その他必要事項欄に記入します。
(8) 開催時間	1 当該催しの開催時間を記入します。 2 開催日によって開催時間が異なる場合は、主となる開催日の開催時間を記入し、その他の開催日の開催時間については、その他必要事項欄に記入します。
(9) 一日当たりの人出予想人員	1 当該催しを主催する者が予想する一日当たりの人出予想人員を記入してください。 2 当該催しが複数日にわたって開催される場合は、人出予想が最大となる開催日の予想人員を記入してください。
(10) 露店等の数	当該催しを主催する者が出店を認める露店等（露店、屋台その他これらに類するもの）の数を記入してください。
(11) 使用火気等	当該催しで使用する予定のあるものに口印にレを付けてください。
(12) 防火担当者	当該催しの防火担当者の氏名を記入します。
(13) その他必要事項	1 雨天等により延期する予定がある場合は、その旨及び予備日、時間等を記入します。 2 その他届出事項に含まれない特異事項を簡記します。 3 記入内容が多岐にわたる場合は、別紙として添付します。